

運用設計入門コース (ワークショップ 第2回)

運用の範囲

ワーク2: 専門性の分析

運用設計ラーニング

2023-11-27

ワーク内容

作業: 列の追加

「レポートライン」「フロントライン」「バックエンド」の各シートについて、
M列(得意分析)とN列(評価分析)の間に、「専門性分析」「専門性強化分析」列を追加します。

レポートラインの例

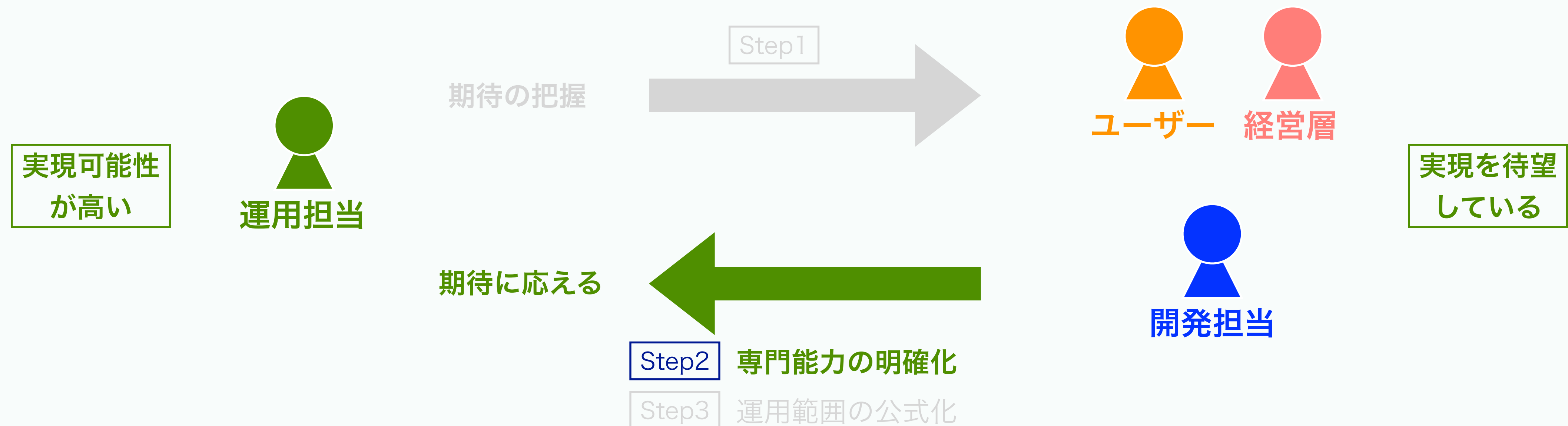
G	H	I	J	K	L	M	N
何を	(ステークホルダーに)何をする	どんな時に	どこで	なぜ	サービスオーナー	得意分析	評価分析
(What)	(How)	(When)	(Where)	(Why)	最も対応する力がある人	(ABC)	(ABC)
前月の月次レポート	提出する。	毎月5日	Webポータル&メール	期間運用実績を適切に説明するために			
前月の月次レポート	(事業長経由で)説明する。	毎月8日	月次事業会議	運用実績を適切に説明するために			
案件別のレポート	提出する。	毎月5日	Webポータル&メール	案件毎の運用実績を適切に説明するため			



G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
何を	(ステークホルダーに)何をする	どんな時に	どこで	なぜ	サービスオーナー	得意分析	専門性分析	専門性強化分析	評価分析
(What)	(How)	(When)	(Where)	(Why)	最も対応する力がある人	(ABC)	期待される専門性	どのように強化していくか	(ABC)
前月の月次レポート	提出する。	毎月5日	Webポータル&メール	期間運用実績を適切に説明するために	波田野 裕一	B			A
前月の月次レポート	(事業長経由で)説明する。	毎月8日	月次事業会議	運用実績を適切に説明するために	波田野 裕一	B			A
案件別のレポート	提出する。	毎月5日	Webポータル&メール	案件毎の運用実績を適切に説明するため	波田野 裕一	B			A

運用の範囲の決まり方 (Step2)

- ・ 運用組織外部からは良い結果や状態を待望されている
- ・ 運用組織には、**良い結果や状態を実現する力があることを明確にする**



ワーク: 専門性の分析

得意分析がAもしくはBの行について、
「専門性分析」列(N列)に、「どのような専門性が期待されるのか」を記述します。

レポートラインの例

G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
何を (What)	(ステークホルダーに)何をする (How)	どんな時に (When)	どこで (Where)	なぜ (Why)	サービスオーナー 最も対応する力がある人	得意分析 (ABC)	専門性分析 期待される専門性	専門性強化分析 どのように強化していくか	評価分析 (ABC)
前月の月次レポート	提出する。	毎月5日	Webポータル&メール	期間運用実績を適切に説明するために	波田野 裕一	B			A
前月の月次レポート	(事業長経由で)説明する。	毎月8日	月次事業会議	運用実績を適切に説明するために	波田野 裕一	B			A
案件別のレポート	提出する。	毎月5日	Webポータル&メール	案件毎の運用実績を適切に説明するため	波田野 裕一	B			A

- 「期待分析がAとなるため」に必要な専門性について記述します。

- A: 評価されている。
- B: 現在は評価されていないが今後評価されるべき
- C: 評価されないままでよい

ワーク: 専門性強化の分析

得意分析がAもしくはBの行について、
「専門性強化分析」列(O列)に、「**どのように現在の専門性を強化していくべきか**」を記述します。

レポートラインの例

G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
何を (What)	(ステークホルダーに)何をする (How)	どんな時に (When)	どこで (Where)	なぜ (Why)	サービスオーナー 最も対応する力がある人	得意分析 (ABC)	専門性分析 期待される専門性	専門性強化分析 どのように強化していくか	評価分析 (ABC)
前月の月次レポート	提出する。	毎月5日	Webポータル&メール	期間運用実績を適切に説明するために	波田野 裕一	B			A
前月の月次レポート	(事業長経由で)説明する。	毎月8日	月次事業会議	運用実績を適切に説明するために	波田野 裕一	B			A
案件別のレポート	提出する。	毎月5日	Webポータル&メール	案件毎の運用実績を適切に説明するため	波田野 裕一	B			A

- 得意分析がBの場合、**どのようにギャップを埋めていくか**を記述します。
- 得意分析がAの場合、**期待されている専門性を上回る、もしくは、環境の変化にも耐え得る専門性を獲得するために、どのようにしていくべきか**、を記述します。

- A: 得意である。
- B: 現在は得意ではないが今後得意にすべき
- C: 不得意のままでよい